

■教育目的

コミュニティファーマシー（地域薬局）のあり方を考えていく上で、薬局の役割や業務内容、医薬分業の意義、かかりつけ薬剤師、セルフメディケーションなどに関する基本的知識と、それらを活用するための基本的態度を習得する。患者の安全確保と QOL に貢献できるようになるために、服薬指導などに関する基本的知識も習得する。また、社会全体の中における地域住民に対する健康サポート薬局としての役割を理解する。（知識、技能、態度）【卒業認定・学位授与の方針：YD-①～⑤】

■学習到達目標

1. 地域薬局の役割を説明できる。
2. 医薬分業のしくみと意義を説明できる。
3. 薬局の業務運営を概説できる。
4. 地域住民のセルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を説明する。
5. 服薬指導上の注意点を列挙できる。

■準備学習（予習・復習）

予習：薬局薬剤師の業務について調べておく。（30分以上）

復習：学んだ知識をもって薬剤師の仕事を観察する。（随時）

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1～2	地域薬局の役割（1）	地域貢献、学校薬剤師、地域連携、災害医療、医療費の適正化、健康サポート薬局	B(4)-①-1～3,5,6、②-3 F(1)-③-1、(5)-②-1、④-1
3	医薬分業	医薬分業のしくみと意義、薬局の法的位置づけ、かかりつけ薬局	B(4)-①-2
4	疑義照会	不適切な処方箋と疑義照会	F(2)-②-1,4,5,6,11
5	服薬指導の基本	守秘義務、服薬指導上の注意点、注意すべき生活指導項目、患者接遇、薬歴管理	F(1)-②-1、(2)-④-7
6～7	地域薬局の役割（2）	在宅医療、居宅介護	B(4)-②-1,2,4,5 F(4)-②-1,2、(5)-①-1～3、③-1
8～9	セルフメディケーション	セルフメディケーション、一般用医薬品、サプリメント、保健機能食品等	B(4)-①-4
10	薬局の業務運営（1）	薬局の業務運営、流通のしくみ	B(4)-①-1 F(1)-②-1
11～12	薬局の業務運営（2）	医療保険制度、調剤報酬、保険薬剤師療養担当規則、保険医療療養担当規則	B(3)-①-5～7、②-3、(4)-①-3 F(1)-③-2,5
13～14	服薬指導（1）（2）	(1) 服薬指導の実際（医療用医薬品） (2) 服薬指導の実際（一般用医薬品）	F(1)-②-2 F(2)-④-2,3 F(3)-③-3 F(5)-③-2～4
15	総合演習	まとめ	

■授業分担者

山崎 紀子（No.1～5・15）、宮沢 伸介（No.6～9）、菅野 敦之（No.10～14）

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末試験の成績 100 % で評価する。

■参考書

『調剤学総論 第12版』堀岡 正義著（南山堂）

『薬事法規・制度及び倫理解説（2017-18年版）』薬事衛生研究会編集（薬事日報社）

『OTC薬ガイドブック第3版 選ぶポイントすすめるヒント』堀 美智子監修（じほう）